※令和４年度以降入学生用

学校番号	325

令和８年度　体育科

教科	体育	科目	スポーツⅢ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	大修館「現代高等保健体育」						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・武道（剣道）に主体的に取り組むこと。
・相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にすること。
・自分の身を守るための技術の向上と、危険を回避する行動の理解と実践。
・相手の多様な動きに応じた基本動作から、技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、得意技を用いた攻防を展開すること

2　学習の到達目標

・剣道の特性や相手に対応した動きの重要性、安全性について知識・技能を理解できるようになる。
・各々の課題に対応した改善策を考えたり、仲間とのコミュニケーションを通じて思考力・判断力・表現力を養い、効率的な方法を考えたりすることができるようになる。
・相手を敬い、礼節の態度をもって、積極的に取り組むことができるようになる。健康・安全に留意して学びにむかう態度を身につけ運動を習慣化する

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	相手を敬い、健康安全に留意して武道への関わり方を理解し実践する。また、技術練習や試合を通して勝敗を競い、攻防を展開したりすることにより技術の向上を目指す。	知識と練習により技能向上につなげ、適切な判断のもと攻防を展開できるようになる。 自他共に運動を継続するための取り組みを工夫する。	自ら進んで楽しみ、健康や安全を確保して取り組もうとする。自他の能力を客観的に判断できる。 公正性・責任感を身につける。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	オリエンテーション・武道	オリエンテーション 剣道 足さばき基本 竹刀操作方法 移動しての素振り 基本技 木刀による基本稽古法基本	a：武道の特性を理解し、得意技を身につける。伝統的な技の名称や稽古方法を理解している。 b：自己の課題に応じて剣道を理解し取り組み方を工夫している。 c：武道の楽しさ喜びを味わい、伝統的な技能・行動を大切にして自他共に安全に取り組もうとしている。	講話 実技 テスト	技能 観察	受講態度 の 観察
2学期	武道	剣道 足さばき応用 竹刀操作応用から対人技能 移動しての素振り応用 応用技 日本剣道形	a：基本的な身体操作を身につけ、対人における攻防ができる。伝統的な技の名称や稽古方法を理解している。 b：自己の課題に応じて剣道を理解し取り組み方を工夫している。得意技を使いこなしている。 c：武道の楽しさ喜びを味わい、伝統的な技能・行動を大切にして自他共に安全に取り組もうとしている。	講話 実技 テスト	技能 観察	受講態度 の 観察

※令和４年度以降入学生用

3学期	武道	剣道 試合	a:応用技の道理を理解し、使いこなすことができる。試合の流れを理解している。 b:応用技に慣れ、試合のなかで使いこなしている。礼節の態度が身についている。 c: 武道の楽しさ喜びを味わい、伝統的な技能・行動を大切にして自他共に安全に取り組もうとしている。	講話 実技 テスト	技能 観察	受講態度 の 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度